

■ご挨拶

日本風力業界の力強い成長に向けて

日本風力発電協会 代表理事 **高本 学**

(株)日立製作所 電力ビジネスユニット
新エネルギーソリューション事業部長



はじめに

協会皆様におかれましては、日頃より当協会の活動理念にご理解を頂き、また風力発電導入拡大に向けてさまざまな活動を頂いており、心より感謝申し上げます。

環境アセスの長期化による導入量停滞の時期を抜け出し、稼働発電所もやや増加傾向にはありますが、私どもが願う日本の電源の主力プレーヤーの立場をより鮮明にするよう、力強い風力業界の成長に向け共に努力してゆくよう、一丸となって進むべく、代表理事再任にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

風力発電単価低減への継続努力のお願い

風力発電が真の国産エネルギーとして幅広く国民の皆様へ支持されるためには、諸外国に負けない発電単価に低減していく努力が必要です。私は、JWPAを構成して頂いている、幅広い各業界の皆様がその持てる技術潜在力を発揮することにより、必ずや諸外国に負けない発電単価を達成できると信じています。是非皆様と一緒に、あらゆる検討を加え、信頼され、国民に愛される風力業界に成長していきたく願っています。

また、エネルギーセキュリティの向上と同様に、地域創生もまた風力業界に期待されているポイントです。より信頼性の高い部品生産、20年間長期安定運転を担保する保守サプライチェーンの確立、高度技術を有する保守員育成プログラム、ロボットなどを活用した安全・安心の保守点検サービス、長期保証保険制度など、風力業界の幅広い裾野拡大を目指して行きたいと思っております。

風力業界人材育成と人口拡大へのお願い

JWPAでは、2030年度3,620万kWの設備導入量を目指した、Wind Visionを策定し公表致しました。この目標を達成するためには大きな課題が存在しますし、その解決施策も表明してきました。このような課題を解決し着実に業界を

成長させていくためには、その業界に携わる方々の人口拡大と技術力強化も含めた人材育成は大きなポイントとなってきます。産・学・官が一体となった人材育成プログラムや風力技術に興味を持っていただく大学・工業専門学校課程への働きかけなど幅広い活動も重要であり、協会としても人材育成タスクフォースを組織して議論を重ね実行に移して参ります。特に今後風車基数の増加と共に、保守業務に携わって頂く方々の人口増加対策は喫緊の課題として解決しなければなりません。故障予知や機械構造品の寿命予測など人工知能を駆使した技術進化と共に、風車を愛して、風車を回し続けたいと願い、風車の気持ちを理解できるような保守整備員の方々をみんなの力を合わせて育てていきましょう。

また、環境アセスの効率的・効果的な予測・評価手法を実現し、更に地域住民の方々への丁寧な対応や正しい知見・情報の伝達など情報発信源としての役割も十分認識しながら活動したいと考えています。

洋上風力市場の早期立ち上げと技術革新

日本の洋上風力プロジェクトが商用ベースで立ち上がってきます。着床・浮体式共に実証研究ベースでデータを収集し、検証を進めて来ましたが、これらの評価を着実に商用機大型ウインドファーム建設に活かして頂きたいと思っておりますし、港湾のみならず一般海域での規制のあり方なども協会がリードして参ります。

最後に

一般社団法人 日本風力発電協会(JWPA)は、会員数が310社を超える大きな協会となりました。風力発電事業に携わるものが、社会的責任(コンプライアンス)を十分認識して、積極的に社会貢献を果たすという姿勢を大切にして、協会活動をより活性化したく皆様のご協力とご支援をお願い致します。